

授業科目名	音楽	教員名	日高 まり子	免許・資格との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
授業形態	演習	担当形態	単独		保育士	
					こども音楽療育士	選択
科目番号	KY0105	配当年次	1年前期	卒業要件	小幼コース	必修
単位数	2単位				幼保コース	必修
科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園） 教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項（幼稚園） 教科に関する専門的事項（小学校） ・音楽					
一般目標	(1)小学校音楽科の教材（表現・鑑賞）についての基礎的な知識を習得する。 (2)小学校音楽科の歌唱教材、器楽教材の基礎的な演奏技術を修得する。 (3)小学校音楽科の新学習指導要領について理解する。 (4)小学校音楽科の教材と学習指導要領の関係を理解し基礎的な表現力・指導力を修得する。					
到達目標	(1)小学校音楽科の教材（表現・鑑賞）についての基礎的な知識を習得する。 1)教材曲の楽曲分析を通して旋律や歌詞の特徴を理解する。 (2)小学校音楽科の歌唱教材、器楽教材の基礎的な演奏技術を修得する。 1)歌唱教材、器楽教材の音楽の要素を理解して歌唱や楽器での演奏技能を修得する。 (3)小学校音楽科の新学習指導要領について理解する。 1)新学習指導要領についての改訂点を理解し、音楽指導における基本的事項について理解する。 (4)小学校音楽科の教材と学習指導要領の関係を理解し基礎的な表現力・指導力を修得する。 1)学習指導要領を根拠にした指導における観点別目標を理解し、実践的な指導法を修得する。					
授業の概要	小学校音楽教科書に掲載されている6年間の教材を、小学校学習指導要領音楽編に基づいて、音楽理論、音楽史、楽器学、演奏形態、日本の音楽、諸外国の音楽・民族音楽の観点から分類し、基礎的な知識を習得する。その知識に基づき、歌唱教材によって楽譜を正確に歌う力を高め、コード理論や音楽理論の学習によって伴奏楽譜やコードによる弾き歌いの技能を培い、教材曲の時代背景や成り立ちを理解し、表現力・指導力を身につける。 アクティブラーニングとして、振り返り、レポートなどを取り入れる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5.教育実践力を身につけている。」「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業計画	第1回：オリエンテーションにてテキストや準備物（A4ファイル、鍵盤ハーモニカ、ソプラノリコーダー）を確認する。この授業では、小学校学習指導要領音楽編に基づき小学校音楽教科書全学年を、音楽理論、音楽史、楽器学、演奏形態、日本の音楽、諸外国の音楽・民族音楽の観点から分類することによって、音楽の基礎知識を習得することを確認する。（目標(1),(3)） 第2回：小学校音楽教科書全学年の共通歌唱教材24曲について、作詩・作曲者・曲の作曲された背景について学習し、視聴覚教材を視聴する。特に「春がきた」を「思いを持って歌う」ことに視点を当てて歌い、発声法や基礎的な歌唱表現力を習得する。（目標(1),(2),(3)） 第3回：鍵盤ハーモニカ・リコーダー・タンブリン・鈴・カスタネット・トライアングル・太鼓・鍵盤打楽器等についての知識を深め、久石譲作曲「さんぼ」の合奏を通して基礎的な演奏技術を習得する。（目標(1),(2)） 第4回：全音符・四分音符・ト音記号・ヘ音記号・拍子記号・強弱記号・反復記号等の音楽用語を、久石譲作曲「さんぼ」の合奏演習・視聴覚教材の視聴を通して修得する。（目標(1),(2),(3)） 第5回：久石譲作曲「さんぼ」の視聴覚教材の視聴・合奏演習・音楽にあわせた身体運動により、表現に関する記号（スタッカート・アクセント等）を理解し、音楽づくりの基礎を学ぶ。（目標(1),(2)） 第6回：調と音階について学習する。具体的には、「かたつむり」「春がきた」「虫のこえ」「夕やけ					

	<p>こやけ」「春の小川」「ふじさん」「とんび」「まきばの朝」「おぼろ月夜」についてハ長調の階名唱を、「うみ」「茶つみ」「スキーの歌」についてト長調の階名唱を、「日のまる」「もみじ」「こいのぼり」「冬げしき」「ふるさと」についてヘ長調の階名唱を、「われは海の子」についてニ長調の階名唱を経験する。固定ドと移動ドについて理解する。(目標(1),(2),(3))</p> <p>第7回：和声学の基礎を学習する。具体的には、フォスター作曲「こきょうの人々」についてハ長調の音階上にできる和音からI・IV・V・V7を理解し、鍵盤で演奏できるようにする。(目標(1),(2))</p> <p>第8回：コード理論の基礎知識・基礎的な演奏技能を、全学年の共通歌唱教材(日本の音階以外)「かたつむり」「春がきた」「虫のこえ」「タやけこやけ」「春の小川」「ふじさん」「とんび」「まきばの朝」「おぼろ月夜」「うみ」「茶つみ」「スキーの歌」「日のまる」「もみじ」「こいのぼり」「冬げしき」「ふるさと」「われは海の子」のコードネーム分析を行い演奏することによって、習得する。(目標(1),(2),(3),(4))</p> <p>第9回：全学年の共通歌唱教材(日本の音階以外)のコードネーム簡易伴奏による弾き歌いの演習を行う。(目標(1),(2),(3),(4))</p> <p>第10回：共通歌唱教材(日本の音階以外)のコードによる弾き歌い実技試験および、ソプラノリコーダー実技試験(課題曲はふるさと)を実施する。(目標(1),(2),(3),(4))</p> <p>第11回：視聴覚教材等により西洋音楽に使われる主な楽器の特徴や演奏法、合奏曲や鑑賞曲の演奏形態の知識を獲得する。具体的には、バイオリンはベートーベン作曲「メヌエット」、フルートはJ.S.バッハ作曲「ポロネーズ」(管弦楽組曲第2番から)、チェロはサン＝サーンス作曲「白鳥」、シューベルト作曲「ピアノ五重奏曲 ます第4楽章」等を取り上げる。(目標(1),(2),(3))</p> <p>第12回：視聴覚教材等により和楽器の特徴や演奏法、合奏曲や鑑賞曲の演奏形態の知識を獲得する。具体的には、八橋検校作曲「六段」の視聴、「さくらさくら」の演奏法の修得により箏、宮城道雄作曲「春の海」の視聴により箏と尺八の合奏についての理解を深める。(目標(1),(2),(3),(4))</p> <p>第13回：視聴覚教材等によって雅楽と「越天楽今様」、日本の伝統芸能「歌舞伎」「狂言」「文楽」、日本の庶民の芸能の歩み、箏曲の作曲家「八橋検校」の働き、西洋音楽の移入に伴う展開を学び、日本音楽史への理解を深める。(目標(1),(2),(3),(4))</p> <p>第14回：西洋音楽史について概観し、J.S.バッハ(バロック時代)、ベートーベン(古典派)、ショパン(ロマン派)、ドボルザーク(国民楽派)、プロコフィエフ(近現代)などの、小学校鑑賞教材を視聴することにより、作曲家・作品がどの時代に位置づけられるかを把握する。(目標(1),(2),(3),(4))</p> <p>第15回：日本民謡を含む様々な諸外国の民族音楽の視聴覚教材等を視聴・演奏することにより、民族音楽について理解する。(目標(1),(2),(3),(4))</p> <p>定期試験：試験期間中に筆記試験を実施</p>
<p>学生に対する評価</p>	<p>学則に基づき、定期試験50%、共通歌唱教材コード伴奏によるピアノ弾き歌い演奏30%、共通歌唱教材のリコーダーによる演奏20%により評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
<p>時間外の学習について</p>	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習：毎回講義の最後に、次回のための練習課題を提示するので必ず練習し、テキストあるいはプリント等により、不明な点を調べておくこと。</p> <p>事後学習：講義内容について自分なりに整理し直し、次回授業までに完全に理解し、練習課題を確認する。</p>
<p>テキスト</p>	<p>『2011年度改訂版教員養成課程小学校音楽教育法』(教育芸術社)</p> <p>『小学校学習指導要領(平成21年)解説一音楽編』(文部科学省)</p>

	『小学音楽 1～6 おんがくのおくりもの』 著作者：三善晃（教育出版株式会社）
参考書・ 参考資料等	『幼稚園教育要領（平成29年告示）』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）』 『保育所保育指針（平成29年告示）』
担当者からの メッセージ	教具として、鍵盤ハーモニカ、ソプラノリコーダーを使用する。
オフィスアワー	毎週月曜日 13:00～14:30